



気づき 考え 実行し 一人一人の輝く笑顔 元気あふれる利根小学校

1 基礎的・基本的な知識や技能の習得、 活用力（思考・判断・表現）・問題解決力の育成

- ①根拠を明確にした話し合いでの考えの深まりや広がりを実感させることで、「ふしぎ・できた・分かった」等の喜びをもたせる授業づくり
- ②一人一台端末等のICTを効果的に活用した、授業作り（前時との接続、単元・題材の接続（教科の見方・考え方）、「めあて」「見通し」、個の考えを表現、考えの交流、学習のまとめ、振り返り等）
- ③学習ルールの徹底と発達段階や教科の特性を踏まえた学習の仕方を身に付けさせることによる、自主的・主体的に学習に取り組む態度の育成
- ④育成する力やねらいを明確にし、「めあて」「見通し」「振り返り」「ともに考え、深める場」を意識した授業づくり
- ⑤隙間時間や学びの時間、漢字・計算トライアルの工夫による、基礎学力の定着
- ⑥家庭学習の手引きの活用や「家読の日」の設定等の家庭との連携による、家庭学習の習慣や読書習慣の確立 【家族で本を読みましよう】
- ⑦一人一人の教育的ニーズの的確な把握による、状況に応じたきめ細かな支援の充実



2 人を思いやる心、自己有用感、道徳的判断力・

心情・実践意欲と態度の育成

- ①人権尊重を核とした、お年寄りや異学年、特別支援学級との交流等による、思いやりにあふれるよりよい人間関係が築ける学級・学年・学校づくり 【沼田大好き！ふるさと学習】
＜青少年赤十字実践推進校指定（令和2・3年度）の成果を活かす＞
- ②一人一人が活躍できる学校行事や学級活動の充実と個のよさを認め励まし、自己有用感を高める学校づくり
- ③朝読書や読み聞かせ、家読の充実と市立図書館との連携等による、読書活動の推進 【家族で本を読みましよう】
- ④「考え、議論する」道徳科への授業改善を図った、道徳的判断力・心情・実践意欲の向上
- ⑤児童の多面的な把握と理解を基盤にした、日常及び授業中の指導・支援の充実
- ⑥日常の観察や生活アンケート等を活用した組織的ないじめの未然防止や早期発見、早期対応



3 健康・食育の知識や技能の習得と実践力の育成

- ①家庭と連携した「早寝、早起き、朝ごはん」の推進と「利根小よい子の一日」、「利根小SNSルール」等を活用した、規則正しく、規律正しい生活習慣の育成 【沼田市SNSルール】
- ②特別支援教育と生徒指導、教育相談の関連性の重視と職員の間で共通理解の深化、SCや外部関係機関との連携の推進
- ③命の大切さを実感する活動を効果的に取り入れたSOSの出し方教育等による、自ら命を守る態度の育成 【児童生徒の命を守り、育てる教育】
- ④健康に関する諸計画等についての共通理解と学校保健委員会の活用等による健康づくりに関する指導の充実
- ⑤子どもたち一人一人の健康に関する情報（既往症、食物アレルギー等）の共有と適切な指導・支援
- ⑥養護教諭や栄養教諭と連携した、各教科における食に関する指導や給食指導の充実
- ⑦体力向上プランを活用した体力の増進と運動能力の育成

学校教育目標

【基本目標】

確かな学力と、豊かな心を持ち、ねばり強さと郷土を愛する
精神に富む、心身ともに健全な児童を育成する。

学校経営方針

【スローガン】

気づき 考え 実行し
一人一人の輝く笑顔 元気あふれる利根小学校

<目指す児童像>

- あいさつ、返事、言葉遣いがしっかりできる児童
元気なあいさつ/明るい返事/時と場に合った言葉遣い
- 互いに協力し、高め合える児童
気づき、考え 実行する/協働/高め合う
- 感謝の心をもてる児童
「ありがとう」と思える、言える

<目指す学校像>

- 確かな学力を保證する学校
何のために学ぶのか/学ぶ意欲の向上/主体的に学ぶ
- 安心・安全な学校
子どもの命、人権を守る/一人一人をよく知る/互いに認め合える人間関係の育成/自己有用感の育成/いじめを許さない/危険予測、察知、回避能力の育成/職員の安全意識の向上
- 保護者・地域に信頼される学校
「通わせてよかった」「もっと応援したい」と言ってもらえる

<目指す教師像>

- 組織力を発揮する教師
チーム利根小/協働/愛情・情熱・使命感をもつ/全職員が全児童の担任という意識をもつ/気づき 考え 実行する/報告、連絡、相談、記録
- 学びを楽しむ教師
児童の成長とともに喜ぶ/よりよい授業を目指す/指導力を磨き合う
- バランス感覚をもった教師
社会人としての自覚をもち、地域と関わりながら生活/ワークライフバランス（仕事と家庭、プライベートの充実）/時を守り、場を清め、礼を正す

4 家庭や地域社会と連携・協働した、 安心・安全、保護者や地域から信頼される学校づくり

- ①学校安全計画や危機管理マニュアルを基にした安全学習や避難訓練の実施による、危険予測・察知・回避能力の育成と対応力・実践力の向上 【セイフティ沼田】
- ②家庭と地域と協働し、地域の教育素材や地域の教育力を最大限に生かし、郷土のよさや夢を語る学校づくりを目指した、特色ある教育活動の推進 【沼田大好き！ふるさと学習】
- ③保・小・中の連携による、小1プロブレムや中1ギャップの解消と各教科等の指導における連結 【幼小中連携】
- ④職員研修、人事評価システム等を活用した、教職員一人一人の指導力・資質の向上と組織的・協働的な取組の充実
- ⑤児童と向き合う時間増を目指した、校務のスリム化と計画的・組織的な運営に向けての改善
- ⑥新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらの学校教育目標の実現



校内研修

- ◎ 研修主題
自分の考えを伝え、学びを深めることのできる児童の育成
～算数科における対話的活動の充実を通して～
- ◎ 研修内容・方法
1 具体化した目指す児童像
【低学年】具体物や図を用いて、自分なりの考えを分かりやすく伝え、他の考えのよさに気付くことのできる児童。
【中学年】図や資料を用いて、根拠を明確にして相手に伝え、他の考えのよさを取り入れて考えを広げることのできる児童。
【高学年】図や資料を用いて、筋道立てて相手に伝え、他の考えのよさを取り入れて考えを広げ深めることのできる児童。
- 2 具体化した目指す児童像を達成するための共通実践する手立て
・単元や単位時間に用いる見方・考え方を明確にして単元構想・一単位時間の授業構想を練る。
・言葉、数、式、図、資料、ICTを用いて考えをもたせたり伝えたりするための指導法の共通理解を図る。
・自力解決後に互いの考えを理解したりアドバイスしたりする対話的活動を設定し、自己の考え方の根拠を明確にさせる。集団解決において、児童の考えを取り上げながら比較・検討し、よりよい解決方法や表現など思考を深める授業展開を工夫し、学びを自覚させる。
・全職員がねらいに沿って研修を進められるように共通理解を図り、ICT機器や一人1台端末を効果的に活用して、研修の積み上げを図る。

令和2～3年度 青少年赤十字実践推進校の指定を受けて取り組んでいた事柄の継続的な推進